

2025 年度一般入学試験 出題意図

【国語】

国語では、「現代の国語」および「言語文化（古文・漢文を除く）」の学習内容を踏まえ、現代の文章を正確に読み取り、内容を整理・統合し、根拠に基づいて判断・表現する力を評価することを目的として出題した。

文章読解においては、論理的文章および文学的文章を題材とし、語句や表現の理解に加えて、文章全体の構成や論理展開、筆者の主張や意図、表現の効果を的確に把握する力を重視した。長文全体の趣旨を捉え、文脈に即して内容を判断できているかを評価する構成とした。

また、接続表現、比喩表現、具体例などを手がかりに、文章に内在する意味を読み解くとともに、自由記述の設問では、自らの理解を言語化する力が身についているかを測定した。各設問においては、本文に即した根拠をもとに解答する姿勢を重視し、表面的な理解にとどまらない読解力を評価した。

全体を通して、国語を論理的・思考的な学問として捉え、大学での学修に必要な読解力、思考力、表現力の基礎が備わっているかを総合的に判断した。

【英語】

英語では、高等学校における英語の基礎的な学習内容を踏まえ、語彙や文法に関する基礎的な知識の定着、英語で表現する力、英語で書かれた情報を正確に理解し、その内容や意図を文脈に即して把握する力を評価することを目的として出題した。

読解においては、文章全体の構成や論理展開を捉え、要点や筆者の主張を的確に理解する力を重視した。設問では、部分的な理解にとどまらず、複数の情報を関連づけて内容を判断できているかを評価した。

また、対話文の問題では、英語を実用的なコミュニケーションの手段として捉え、英文の意味を正確に読み取るだけでなく、文脈に応じて適切な語句や表現を判断し、状況や目的に応じた理解ができているかを重視した。

全体を通して、単なる知識量や単文の理解だけでなく、英語を用いて情報を理解し、思考するための基礎的な言語運用能力が備わっているかを総合的に評価した。

【数学】

数学では、数と式、図形、関数、データの活用などに関する基礎的な知識・技能の理解を前提として、問題文の条件を正確に読み取り、それらを整理・統合しながら論理的に考察する力を評価することを目的として出題した。

基本的な計算技能や公式の理解を土台としつつ、単なる機械的処理にとどまらず、状況に応じて適切な解法を選択し、結果の妥当性を判断する力が身についているかを重視した。また、式・図・数値などを相互に関連づけて考えることで、数学的な見方・考え方を用いて問題を解決する力を測定する構成とした。

解答形式や条件設定を通して、計算の正確性のみならず、思考過程の一貫性や論理性が確保されているかを評価し、大学での学修に必要な基礎的な数学的思考力の定着状況を総合的に判断した。

【歴史総合・日本史探究】

「歴史総合・日本史探究」では、日本の歴史的事象や人物、制度に関する基礎的知識の定着を前提として、歴史総合で重視される近現代史の視点を踏まえつつ、日本史を時代の流れの中で総合的に理解する力を評価することを目的として出題した。

政治・社会・文化の動きが相互にどのように関連し、変化してきたかを捉えられているかを重視し、出来事を個別に暗記するのではなく、背景・原因・結果を関連づけて理解する力が身についているかを測定した。

また、史実や人物の知識そのものだけでなく、歴史的事象を構造的に捉え、意味づけて理解する歴史的思考力を評価する構成とした。

【歴史総合・世界史探究】

「歴史総合・世界史探究」では、世界各地域の歴史的展開に関する基礎的知識の定着を前提として、歴史総合で扱う近現代の国際的動向を軸に、世界史を広い視野から総合的に理解する力を評価することを主眼とした。

各地域の歴史を個別に捉えるのではなく、国際関係や地域間の相互作用の中で歴史を理解する力を重視し、政治・外交・社会・経済の動きを関連づけて考察できるかを重要な観点とした。

用語や年代の暗記にとどまらず、歴史的背景や因果関係を踏まえて事象を判断する力が身についているかを評価する構成とした。

【物理基礎】

「物理基礎」では、力・エネルギー・熱・電気・波動などの基礎的な概念や法則について理解していることを前提として、自然現象を物理法則に基づいて捉え、因果関係や数量関係を論理的に考察する力を評価することを目的として出題した。

現象と法則との対応関係を正しく理解しているかを重視し、公式の暗記にとどまらず、条件や図をもとに現象を定性的・定量的に判断する力が身についているかを測定した。また、日常的な現象や実験設定を通して、物理的な見方・考え方をを用いて問題を解決する姿勢を評価する構成とした。

【化学基礎】

「化学基礎」では、物質の性質、化学変化、粒子の考え方などに関する基礎的事項の理解を前提として、化学現象を粒子レベルで捉え、知識を整理・活用して考察する力を評価することを主眼として出題した。

物質や用語の知識そのものだけでなく、実験操作や物質の分離・精製、化学変化の過程について、条件に応じて適切な方法や考え方を選択できるかを重視した。暗記に偏らず、化学的な見方・考え方をを用いて現象を理解・説明する力を測定する構成とした。

【生物基礎】

「生物基礎」では、生命現象の共通性と多様性、体内環境の維持、免疫などの基本的事項について理解していることを前提に、生命現象の仕組みを総合的に捉え、図表や文章から情報を読み取って考察する力を評価することを目的として出題した。

用語や知識の暗記にとどまらず、実験結果やグラフをもとに、複数の情報を関連づけて論理的に判断する力が身についているかを重視した。生命現象を断片的に覚えるのではなく、全体像として理解し、説明できる力を評価する構成とした。